

日本美術院の巨匠たち

Part 1

岡倉天心

横山大観

菱田春草

下村観山

「岡倉天心の理念と
日本美術院の歩み」

令和7年

4月17日～7月13日

■開館時間:午前10時～午後4時(入場は午後3時半迄)

■休館日:月曜・火曜・水曜 夏期・冬期
ホームページでご確認ください。<https://www.taikan.tokyo>

■入館料:大人 800円(650円)

:中高生 650円(500円)

:小学生 300円(200円)

※()内は20名以上の団体が一括で支払う場合及び障がい者手帳を所持者の本人料金

横山大観記念館

東京都台東区池之端1-4-24





菱田春草 下村観山 横山大観 橋本雅邦 岡倉天心

日本美術院は、明治31年、岡倉天心とその傘下の画家たちにより創設されました。この中心的存在として活躍した横山大観、菱田春草、下村観山らは、古美術に学び、また新時代の息吹を取り入れながら、「日本画」の創造に邁進しました。そこには、欧米に心酔する我が国の潮流に危機感を抱き、伝統と東洋精神を復興すべく美術行政、美術教育を導いた天心の理想が色濃く反映されています。本展示では、大観の初期作品や大観のコレクションから天心、春草、観山の作品を紹介し、その草創期の試みを振り返ります。



1



2



3



4



6

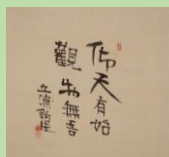


5



7

- 1.横山大観《牡丹》2.菱田春草《観音》3.下村観山《陶淵明・下図》
- 4.横山大観《十一面観音・下図》5.横山大観《赤壁》
- 6.横山大観《峰砂丘》7.横山大観《松韻》8.岡倉天心の書
- 9.中国にて 10.大観の旅行靴 11.欧州スケッチ帳



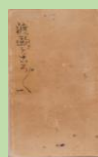
8



9



10



11

横山大観が実際に住んでいた家

横山大観記念館

開館時間 | 10:00~16:00

入館は15:30迄

休館日 | 月~水曜日

〒110-0008

東京都台東区池之端

1-4-24



TEL : 03-3821-1017

URL : <https://www.taikan.tokyo/>

| 交通案内 |

- ◆千代田線[湯島駅]1番出口より徒歩7分
- ◆JR[上野][御徒町駅]より徒歩15分
- ◆銀座線[上野広小路駅]より徒歩12分
- ◆大江戸線[上野広小路駅]より徒歩12分
- ◆都営バス[上野広小路] 発上58早稲田行
[池之端1丁目] バス停前

※駐車場・駐輪場はございません



横山大観 一八六八〜一九五八 茨城生れ。東京美術学校第一期生として卒業。明治三十一年岡倉天心の日本美術院の創立に参加。明治三十年代には菱田春草と共に没線描法を試みるも「朦朧体」として酷評される。明治三十六年以降、インド、アメリカ、ヨーロッパ、中国を遊歴。岡倉の一週忌の大正三年日本美術院を再興。岡倉の理想主義、東洋主義を絵画で実践し、独自の精神主義のもと、気韻に満ちた大きな画格によって近代日本画を主導した。

菱田春草 一八七四〜一九一一 長野生れ。東京美術学校第三期生として卒業。明治三十一年日本美術院に参加、大観と行動を共にし、近代の日本美術史に名を遺す名作を手掛けるが、腎臓を患い、眼病も併発、三六歳という若さでこの世を去る。大観は「日本の美術界にとって大きな損失だ」と惜しんだ。

下村観山 一八七三〜一九三〇 和歌山生れ。狩野芳崖や橋本雅邦に学ぶ。大正六年に帝室技芸員拝命。穏健ながらも豊かな造形を切り開き、岡倉の理想を体現した画家として日本画史に大きな足跡を残す。